

# カッター・カッター替刃/バリ取り器・替刃

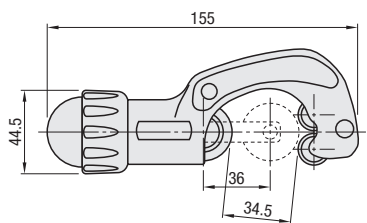
# パイプ寸法の計算方法

ーメタル・ジョイント/プラスチック・ジョイントー

## ■カッター



PFCAT  
PFCATS



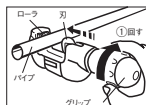
④強化タイプのアルミパイプフレーム・ファクトリーフレームの切断はできません。

型式	適応パイプ	質量 (g)	¥基準単価 1〜9コ	¥スライド単価 10〜20
PFCAT	アルミ押出パイプ・樹脂皮膜パイプ	350	4,700	4,460
PFCATS	ステンレスパイプ	356	5,340	5,070

④表示数量超えはWOSにてご確認ください。

## ■使用方法

- グリップを回して、ローラとカッター刃にパイプをくわえます。この時、パイプの先端はローラの幅以上に出してください。
- グリップを回し、カッター刃がパイプに当たるところから、さらにグリップを図の矢印①の方向に1/4回転程度回し、本体を1回転させて全周に切込み跡をつけてください。
- その後グリップをゆっくり回し、(本体1回転につきグリップ約1/8回転程度)徐々に切込みを深くしながら、本体を回転させ切断してください。  
\*切込みを入れるスピードが早いと、パイプを変形させたり、刃の寿命を縮める原因となります。



## ▲注 意

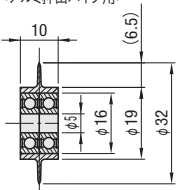
- 仕様でないものの切断や切断以外の目的で使用されると、カッターの破損や事故の原因になります。
- ご使用前に必ずカッターの点検をし、異常があれば修理や交換が済むまで使用しないでください。
- 切断作業中、刃物部には手を触れないでください。刃と管の間に指を挟むなど、事故やケガの原因になります。
- 運搬中や作業中は、落下に十分注意してください。
- カッターが水に濡れた場合は必ず拭き取ってください。ペアリングに水が入ると錆びて動かなくなる恐れがあります。

## ■カッター替刃



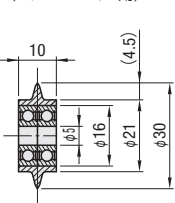
PFCATH

(樹脂皮膜パイプ、アルミ押出パイプ用)



PFCATHS

(ステンレスパイプ用)



▲付属品 E型止め輪1個

型式	質量 (g)	¥基準単価 1〜9コ	¥スライド単価 10〜20
PFCATH (樹脂皮膜パイプ、アルミ押出パイプ用)	19	1,320	1,250
PFCATHS (ステンレスパイプ用)	25	1,960	1,860

④表示数量超えはWOSにてご確認ください。

替刃交換方法：カッター本体の替刃取付ピンをE型止め輪を外し、取付ピンを抜いて交換してください。



Order  
注文例

型式

PFCAT

PFCATH



Delivery  
出荷日

在庫品

翌日出荷

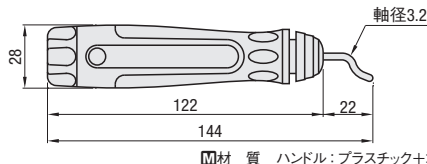
☎ P.133

④ご希望によりPM6:00迄、当日出荷受付致します。

## ■バリ取り器/替刃



M-NG1000-F (バリ取り器：PFREMH-BS1010×1本)  
M-NG1000-S (バリ取り器：PFREMH-BS1018×1本)  
PFREMH-BS1010 (替刃10本組)  
PFREMH-BS2010 (替刃10本組)  
PFREMH-BS1018 (替刃10本組)



▲材 質 ハンドル：プラスチック+ゴム

## ■バリ取り器

型式	質量 (g)	¥基準単価 1〜9本	¥スライド単価 10〜30
M-NG1000-F	31	1,740	1,650
M-NG1000-S	31	1,770	1,680

④表示数量超えはWOSにてご確認ください。

## ■替刃

型式	No.	特長	¥基準単価* 1〜9組	¥スライド単価* 10〜30
PFREMH	BS1010	鉄鋼・アルミの重切削用。片刃、右回りで使用。黒色	2,530	2,400
	BS2010	鋳物・真鍮・プラスチック用。両刃、左右回りで使用。シルバー	2,530	2,400
	BS1018	ステンレス等の難削材。片刃、右回りで使用。シルバー	2,990	2,840

\*1組10本入りとなります。

④表示数量超えはWOSにてご確認ください。



Order  
注文例

型式

M-NG1000-F

PFREMH-BS1010



Delivery  
出荷日

在庫品

翌日出荷

☎ P.133

④ご希望によりPM6:00迄、当日出荷受付致します。

## ▲注 意

- パイプフレーム切断後のバリ取り以外の目的で使用されますと、破損や事故の原因になります。
- ご使用前に必ず、バリ取り器の点検をし、異常があれば修理や交換が済むまで使用しないでください。
- 作業中、刃物部には手を触れないでください。事故やケガの原因になります。
- 従来商品のPFREMIは、M-NG1000-Fに型番変更となりました。ハンドル形状は若干変更となりますが、ご使用に際して機能上の差はございません。

## ■使用方法

- グリップを持ち、刃を面取りするパイプ内側にあてがいます。
- 常に刃がパイプの方向を向くようにしながら、一周以上、回転させてください。



## ■メタル・ジョイント計算例

### PBLSN1を使用した場合

芯寸法=900-16.5×2=867

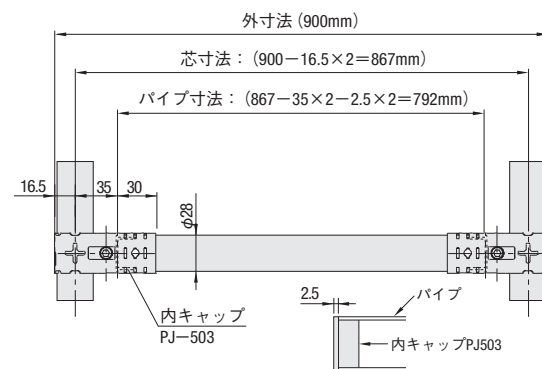
=外寸法-メタルジョイントの半径×2

パイプ寸法=867-35×2-2.5×2=792

=芯寸法-メタル・ジョイントの中心から

パイプの先端まで

※錆防止のため、内キャップをとりつけた場合は、その分パイプが短くなります(2.5×2)。アルミ押出しパイプをご使用の場合は、内キャップをとりつける必要はありません。



## ■プラスチック・ジョイント計算例

(④アルミ押出しパイプ・ステンレスパイプは、プラスチック・ジョイントとの併用はできません。)

### PJ002を使用した場合

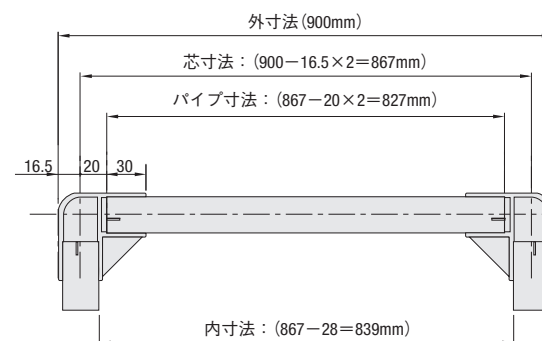
芯寸法=900-16.5×2=867

=外寸法-プラスチックジョイントの半径×2

パイプ寸法=867-20×2=827

=芯寸法-プラスチックジョイントの中心

からパイプの先端まで



### PJ003を使用した場合

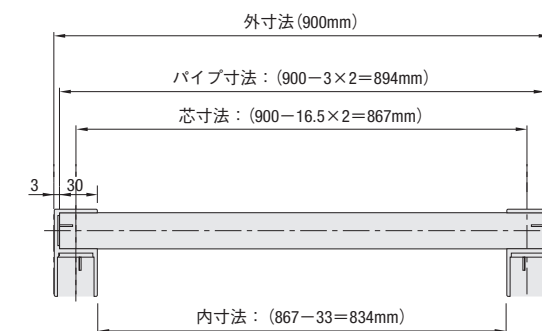
芯寸法=900-16.5×2=867

=外寸法-プラスチックジョイントの半径×2

パイプ寸法=900-3×2=894

=外寸法-プラスチックジョイントの端面

からパイプの先端まで



## PJ401・PJ404・PJ409を使用した場合

勾配芯寸法=900×√2≒1272

=水平間芯寸法×√2

勾配パイプ寸法=1272-35×2=1202

=勾配芯寸法-プラスチックジョイントの

中心からパイプの先端まで

